

A long time ago, there was a young girl.

She lived with her mother and older sister.

Everyday, the mother and her sister forced her to do all the housework while they dressed up beautifully and attended parties and balls.

The girl did not have time to rest because she was working all the time. Her clothes and body were always dirty, covered in dust and ash. And so, she was called "Cinderella", which meant, "full of ash".

One day, an invitation letter to the ball from the castle was delivered to their house. Cinderella's mother and sister were very excited. The two told Cinderella to do even more jobs:

"Cinderella, prepare the party dresses for us!"

"Also, make sure you clean and polish hair accessories, necklaces and shoes!"



Cinderella wanted to go to the ball as well, however, she did not own any dresses, pretty shoes or accessories. Therefore, she had no choice but to decline the invitation.

On the day of ball, her mother and sister dressed beautifully and left to go to the castle. And of course, Cinderella had to stay home.

She was sitting on a chair and crying alone.

Then, in the next moment, a yellow, glowing sphere was thrown through the room from a window. The sphere darted around the room until softly landing on the back rest of her chair.

Cinderella closely observed the unusual sphere and was shocked to discover that it was a small lady with wings. She was wearing a white dress and held a stick in her hand.



むかし、あるところに、ひとりの わかいむすめが いました。
むすめは、ははと あねと、さんにんで くらしていました。
ははと あねは、いえの しごとを、すべて その むすめ
ひとりに おしつけ、じぶんたちは きれいに きかざり、
まいにち あそびに でかけていました。
むすめは やすむひまなく はたらかされ、ふくも からだも、
いつも ほこりや はいに まみれて よごれていました。
むすめは いつしか、はいだらけ といういみの
『シンデレラ』と よばれるように なりました。

あるひ、シンデレラの いえに、おしろから
ぶとうかいの しょうたいじょうが とどきました。
ははと あねは、およろこびです。

「シンデレラ、パーティードレスの じゅんびを
してちょうだい！」

「かみかざりも、ネックレスも、くつも、
きれいに みがいて おくのよ！」

ふたりは シンデレラに、
つぎつぎと しごとを いいつけました。



シンデレラは、じぶんも パーティーに いきたいとおもいましたが、きていく ドレスもなく、すてきな くつや、アクセサリーのひとつも もっていません。

シンデレラは、あきらめるしか ありませんでした。

そして、パーティーの とうじつ。

ははと あねは、めいっぱい おしゃれを して、おしろへ でかけて いました。

シンデレラは、もちろん るすばんです。

シンデレラは いすに こしかけ、ひとり ないていました。

すると そのとき、きいろい ひかりの たまが、まどからへやに とびこんで きました。ひかりの たまはへやじゅうを とびまわった あと、シンデレラが すわっていた いすの せもたれに、ちょこんと とまりました。よくみると それは、はねを はやした、ちいさな じよせいでした。しろい ドレスを きて、てに つえを もっていました。

